

まちの日記帳



漁港をきれいに 漁港利用協議会が清掃活動に汗

6/20

美国漁港のプレジャーボート利用者で構成する美国漁港利用協議会（八戸良一会長）は、同港の清掃活動を行いました。

漁港清掃は例年春と秋の年2回実施しているもので、この日は同協議会の会員40人が参加し行われました。

参加者が港内の散乱物や道路沿いに堆積した土砂、会場の浮遊する空き缶やペットボトルなどを拾い集め、さまざまに混じり合ったごみを区別しながら約2時間の清掃活動に汗を流しました。



芸術を身近に感じて！ 小学校芸術鑑賞会

6/22

芸術や文化触れることで豊かな感性を育むみ、芸術・文化の理科を深めることを目的に、町教育員会が主催する小学校芸術鑑賞会が町内小学生と一般を対象に総合文化センターで行われました。

今回の公演は、劇団さっぽろ（札幌市）による「ハックルベリィ・フィンの冒険」。

約2時間の迫力ある講演を子どもたちや一般の来場者は、終始真剣に鑑賞していました。

また、この日はリフレッシュ学級の会員も鑑賞し、文化と芸術に触れる貴重な機会となりました。



楽しく親子でデザートづくり 親子ふれあい塾

7/3

料理づくりを通じて親子の関わりを再認識することを目的に第1回親子ふれあい塾「親子クッキング」が総合文化センターで行われました。

参加した親子合計24人は、講師の北海道フードマイスターの佐藤多美子さんと越谷玲子さんの指導により、「イチゴのフラン」や「バナナシェーク」を作りました。

おなじみの果物を使ったデザート作りに子どもたちは楽しそうで、室内はオープンで焼きあがったケーキの甘い香りに包まれました。



子育て交流会「ぴよぴよクラブ」 水遊びに大はしゃぎ

6/20

7/15

3歳未満の子どもを持つお母さんや、子ども同士の交流の機会の提供を目的に、子育て支援センターと町住民福祉課が共催する子育て交流会「ぴよぴよクラブ」が余別地区コミュニティセンターと子育て支援センターでそれぞれ行われました。



▲子育て支援センター「プール遊び」



▲余別地区コミュニティセンター「指絵具」

余別地区コミュニティセンターでは、食紅を使った「色水あそび」や小麦粉に食紅を混ぜた「指絵具」、子育て支援センターでは「プール遊び」が行われました。

水に親しむことを目的に行われたプール遊びでは、ペットボトルやホースでの手づくりおもちゃを使っての水遊びに子どもたちは大はしゃぎ。

ビニールプールで思っていた以上に楽しそうに遊ぶ我が子の姿に、お母さんからは「家でもたくさん水遊びをさせたい」との感想も聞かれるなど20分程度の短い時間でしたが、子どもたちはたっぷりと楽しい時間を過ごしました。

楽しく・おいしく離乳食 離乳食教室

7/7

1歳未満の親子を対象に離乳食教室が総合文化センターで開催され、親子11組が参加しました。

今回は、在宅栄養士の神山悦子さん（余市町）を講師に、離乳食初期から後期の子どもたちの成長に合った離乳食の作り方や味付けなどの講習や、実際に試食を行いました。

『いちごと鶏肉』など大人では考えつかない取り合わせも試してみて。』などのアドバイスを受けながら、参加者は楽しんで離乳食への理解と親同士の交流を深める機会となりました。

